CNTRL HLDGS

せんとらるライナー 83号

ホームページ Facebook インスタグラム

2025年 冬 号
…1・4・7・10月1日発行…

セントラルグループ
〒509-7201 恵那市大井町1202-4
【TEL】0573-26-4114
【mail】info@central1961.com

新年のご挨拶

時代と社会から選ばれる セントラルグループへ

新年、あけましておめでとうございます。旧年中は格別なるご支援、ご厚情を賜りましたこと衷心より感謝申し上げます。

さて、当グループは、売り上げや規模を競うのではなく、誰にも真似の出来ない独創的オンリーワン企業とならんことを目指しております。そして、そのためには何をなさねばならないのかを、三年を一期とした経営計画を組み立てております。

今期は、「ホールディング化の深化」と「働きがいのある会社づくり」の二つを最重要課題と定め、取り組みを進めております。前者は、既にホールディング会社を設立し、建設、運送、警備、介護、看護など等、多種多様な事業を営む各社がホールディング会社にぶら下がる形態が完成しました。この結果、グループ間のグリップが強化されると共にフレキシビリティも増し、この3年間に「建設発生土のリサイクル」など複数の新規事業をスタートすることが出来ました。今後もシナジーが期待できる分野への、更なる挑戦を進めていきたいと考えております。後者に関しても着々と改革を進めておりますが、こちらはキリがありません。今後も一層の磨きを掛け、職員にとってより働き甲斐がある魅力的な会社となる様、進化して参る所存であります。

そして、今年の7月からは新たな三か年計画がスタートします。時代と社会から選ばれるセントラルグループになるために、次の三年間に、何をなさねばならないかを全社全員で考え、より地域に必要とされる企業づくりに励んで行きたいと考えております。

本年も、なにとぞ、ご愛顧賜らんことをお願い申し上げます。

グループ代表 阿部 伸一郎
阿部 護

せんとらるライナー食堂車

チェルベア

― 縁と輪を紡ぐイタリアン＆和風カフェバル ―

【外観】

2022年7月のオープンから、瞬く間に人気店へと成長した「チェルベア」。この店を運営するのは、伊藤みやこさんが代表を務める「喜腹（kyappana）」グループ。みやこさんの長男で店長の善哉（よしや）さんは、「お客様とお店、そしてお客様同士の縁と輪を創造する」食の場でありたいと言う思いから、店名を「チェルベア」とした。「チェルベア」とは、イタリア語で「縁」や「輪」を意味する「Cerchio（チェルキオ）」と、「悦びをもたらす者」とい言う意味を持つ「Beatrice（ベアトリーチェ）」を掛け合わせた造語。この名前に込められた思いが、そのまま店全体の雰囲気を表している。

お店のテーマは、「イタリアン＆和食のカフェバル」。ランチタイムには、気軽に楽しめるパスタやピザが人気。一番よく出るのは「恵那鶏のボロネーゼ」。地元の恵那鶏をローストし、その旨味をたっぷり含んだソースをフィットチーネに絡めた一品は、イタリアの食材を代表するパスタと地元食材の融合からなる、この店の名物。

【恵那鶏のボロネーゼ】

【ねまや　恵那駅前通り】

また、ディナータイムには、低温調理で仕上げた「恵那鶏のレバーフォアグラ仕立て」が登場する。フォアグラのような滑らかな食感と濃厚な味わいが、舌に喜びを与えてくれる。お店を支えるのは、フィレンツェで修業を積んだ二人の料理人。彼らの斬新なアイデアが、一品一品の味わいを醸し出す。

チェルベアは、喜腹グループが運営する３つの飲食店の一つ。他の２店も実に個性豊か。

恵那駅前通りに面する「ねまや」は沖縄料理が中心の居酒屋。「手打ちそば匡（まさ）」は、中津川の中心商店街にあって、お昼は勿論、夜も楽しくお酒が飲めるお蕎麦屋さんとして人気を博している。

kyappana グループを率いる、みやこさんは、ご紹介した３店のほか、恵那と中津川の４つのスナック経営にも携わる、やり手女性経営者として当地の飲食文化を支える。今後の益々の活躍を期待したい。

【手打ちそば匡　中津川市新町】

≪営業時間≫
ランチ　11:00 ～ 14:00（土日 14:30）
ディナー　17:00 ～ 21:30
≪定休日≫月・火（予約のみ営業）

≪住所≫
恵那市長島町中野 1-9-1
≪TEL≫
0573-38-0425

@CERBEA_CAFEBAR

せんとらるライナーで旅する恵那

「全国さくらシンポジウムin恵那」開催のお知らせ

２５年４月４日、５日の両日、日本花の会が主催する「第44回、全国さくらシンポジウム」が恵那で開催されます。この大会は、桜をテーマに全国の関係者が集い、桜に関する保護活動や地域活性化の取り組みを共有し交流することを目的に1982年に始まりました。

「未来につなぐ、恵那のさくら」というテーマで恵那大会は、開催されます。詳細はまだ決まっておりませんが、ここ数年夜桜で人気を博す恵那峡を中心に、三好学のふるさと岩村などで執り行う予定です。詳しいスケジュールが決まり次第、恵那市のHPなどでお伝えしていきます。

【恵那峡の夜桜】

故郷の生んだ植物学の権威　三好学 1862-1939

植物学の権威、特に桜の研究で知られる三好学は江戸末期の1962年に岩村藩江戸藩邸で生まれ、幼少期を岩村で過ごしました。11歳で父が亡くなると東北にいた伯父に引き取られ岩村を離れました。石川県の師範学校を卒業した後、ふるさとに帰り瑞浪市内の小学校の校長を務めた後、東京帝国大学からライプチヒ大学へと進み、帰国後に帝大の教授に就任しました。

桜に携わる人で三好学の名を知らない人はいません。また、彼は植物学の基盤となる「環境」と言う言葉を生み出したことでも知られています。今日、この「環境」と言う言葉は、植物学の枠をはるかに超え、あらゆる領域で使用される日本語になくてはならない概念となっています。

なお、曾孫で元岐阜大学、応用生物学准教授の獅々田仁（めぐみ）先生の記念講演が行われる予定です。是非、昼夜とも恵那のさくらを楽しみにお越しあれ。

せんとらるライナー乗務員室

Kaneku 訪問看護ステーション
アリビオ
渡邉　優

【座右の銘】 親しき仲にも礼儀あり

【休日の過ごし方】 ・いきなり旅行へ行く
・子どもの習い事の送迎やお手伝いなど

【趣味】 ・鍼通い
・旅行（計画を立てるところから楽しいです。知らない土地に行ってみるのが好きです。）

【仕事のやりがい】
訪問看護は、利用者さん一人に対し、じっくり向き合うことができます。全ての年代の方に、関係職種と協力しあい、一人ひとりに必要な支援を行っています。利用者さんやご家族から感謝を述べられると嬉しく思いますし、地域の在宅医療に貢献できていることを感じます。

【一言】
これからも訪問看護で必要なスキルの取得・向上に努めます！

企業理念

社是
企業は人なり
人は姿勢なり
姿勢は心なり

社訓
一、人・姿勢・心の基本は
挨拶にあると知れ
一、礼儀を正し、
前向きで素直たれ
一、信用を第一とし、
知恵と工夫と努力で
利益を追求せよ
一、反省し改善し進化せよ

綱領
我々、セントラルグループ全社員は、
企業理念の根幹たる
人・姿勢・心を研き、
社業の繁栄を築き、
地域の安全で快適な生活基盤を
創造する担い手として、
社会に貢献することを使命とする。

企業理念の意味するところ

わが社の思想、進むべき方向性。
そして、当社において「正しい考え方」とは何であるのか。
それらを簡潔に要約したのが、右の企業理念です。我々セントラルグループ全社員は、この企業理念に価値観を共有し結束し、地域の安全で快適な生活基盤を創造する担い手と成るべく進化を続けて行く所存です。

読書尚友

～読書をして昔の賢人を友にすること～

古典60選 …グループ共同代表 阿部伸一郎…

83／60＋α 『五重塔』 幸田露伴 1867～1947

幸田露伴

幸田露伴は、徳川の幕臣であった一家の四男として、江戸の下町に生まれ育った。両親ともに学問に熱心で、露伴は名門の東京師範学校附属小学校から日比谷中学へと進んだ。しかし、討幕後の一家の家計は日に日に困窮を極め中学退学を余儀なくされたが、その後も独学で文学を学び続けた。社会人となり、一旦は北海道で職に就くも、小説家への夢を捨てられず帰京し、執筆活動を始めた。そして、23歳の時、初めて自分の家を谷中に持った。そこにあったのが、小説のタイトルとなる感応寺（現・天王寺）の五重塔であった。

彼が生まれた江戸時代最後の年、慶応3年は「大豊作」であった。この年には、夏目漱石、正岡子規、尾崎紅葉、樋口一葉、森鷗外と言った明治を代表する文人が生まれている。彼らが活躍した時代は、文明開化の影響を受け書き言葉である文語体と、話し言葉である口語体を一致させようと言う、「言文一致」運動の真っただ中にあった。夏目漱石を筆頭に言文一致の流れに沿った小説家もいれば、伝統的な文語体を用いた作家も居た。中でも、露伴は、後者の代表格で『五重塔』は、その象徴的な作品と言えよう。

私も、そんな『五重塔』を読んでみようと、手に取ってみた。読み始めると、句点「。」は極めて少なく、読点「、」で続く文章が続き、その中に複数の者の会話が入る。その中に会話を示す「」はなく、誰のセリフか判断が難しい。加えて、漢文調で難解な表現がやたら多い上に、文語体と口語体が組み合わさっており、全く読み進むことが出来ない。そこで、一旦読むのをやめ、先ずはあらすじと登場人物の相関関係を頭に入れ再挑戦してみたが無駄に終わった。つくづく己の才能の無さを悟らされた。現代語訳も探せばあると思うが、それでは幸田露伴を読んだことにはならない。一応「其三十五」までのあるうちの「其三」までの活字を目で追ってみた。理解には至らずとも華麗な文章とリズム感だけを味わっただけで充分と諦め、そこからは発想を変え、読まずともこの本を楽しむことを考えた。

ずっと昔に何かで数学者の岡潔のことを読んだことがある。彼は、芭蕉が俳句を詠んだ地を訪れ、その風景に身を置くことで感性が刺激され数学の難問を解くひらめきを得たと言う。数学にも俳句にもセンスの欠片もない私に出来るものではないが、不思議に思いながらも何となく分らんでもない話だと思った。

この岡潔の話をもとに、東京に出張した折に谷中に行ってみた。東京には5年住み、その後もしばしば行くものの、谷中は初めてだった。この一帯の中心には、歴史上の偉人が多く眠る谷中霊園が広がり、霊園内を横切る小道沿いに幾つものお寺と民家が混在すると言う独特の生活空間が存在する。こうした谷中は、江戸の昔から文人たちに好まれ、多くが居を構えた。露伴もその一人で、五重塔は目と鼻の先にあった。

こうした歴史と文化がしみ込んだ谷中を散策していると、読まずとも何となく『五重塔』が、体内に入り込む感覚を覚えた。もし最初から読めていたら、こんな体感は得られていた筈もない。正に、人間万事塞翁が馬である。己の才能の無さのお陰で、読む以外にも小説には楽しみ方があることを知った。幸田露伴に感謝である。

谷中霊園

五重塔

幸田露伴邸跡地

谷中天王寺五重塔
1957年放火により焼失

～谷中散策～

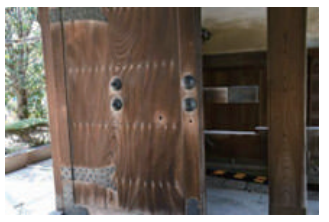
〔賑わう谷中銀座〕

『五重塔』をきっかけに、何度か谷中を訪れた。読書尚友に谷中は「墓地と生活が共存する街」と書いたが、それだけではない。空襲から免れ、バブル期の大規模開発からも取り残されたことが幸いし、昔ながらの町並みが残り東京の真ん中にいる気がしない。

旧露伴邸や五重塔があった谷中霊園から日暮里駅へ続く通りへと歩けば、歴史の一端が顔を覗かせる。上野戦争で彰義隊が逃げ込み、新政府軍の銃弾を受けた経王寺の山門には、今も弾痕が残る。その少し先には、ドラマや映画にも登場する「夕やけだんだん」があり、そこを下ると、食べ歩きで人気のレトロな谷中銀座へと続く。

今、この谷中は、古き良き日本が味わえるとインバウンドでごった返す。東京を訪れた折には、是非お訪ねあれ。

〔夕やけだんだん〕



〔銃弾痕が残る経王寺の山門〕

〔天王寺五重塔跡地〕

建築NEWS

昨年12月に上棟式が行われた『本町の家新築工事』が、昨年9月に無事竣工を迎え、お引き渡しをすることが出来ました。

設計士の監修の元、内装の仕上げや使用する銘木、ポーチやエントランスの敷瓦、柱の束石など、材料一つ一つを厳選した平屋の家屋が完成しました。

特に書院造の座敷には床柱に柿の木を使用し、畳はイ草の名産地・熊本県で二年連続日本一に輝いた生産元の畳表を使用。裏床には天然の防湿材ともいえる、棕櫚裏床（しゅろうらどこ）を使用した最高級の畳を納めさせて頂きました。

外壁にはラスモルノンクラック工法という、クラックと呼ばれるひび割れが入らないような工法を採用。

また、外構工事の庭石や植栽なども、設計士自ら足を運んで選び抜いた材料を使用しており、各所にこだわりの感じられる建物となっています。

セントラル建設では地域の安全で快適な生活基盤を創造する担い手として、確実な施工はもちろんのこと、家づくりに関する様々なアドバイスをさせて頂いております。

今後とも変わらぬご愛顧を頂きますようよろしくお願いいたします。

・・Kanekuコーポレーションより・・

今回は歩行器の紹介をさせて頂きます。駐車ブレーキ操作が必要な歩行器をご利用頂く中で、一番多いヒヤリハットである駐車ブレーキのかけ忘れ。そんなヒヤリハットに対応した歩行器の発売元は幸和製作所さんです。これまでに多く歩行器をこの世に生み出され、テイコブシリーズやシトレアシリーズなどの歩行器が代表的な商品です。

<テイコブリトル>

<シトレア>

今回、紹介する歩行器の名は「ジスタ」と言います。ジスタの特徴は、歩行器から離れる時、座面に座る時に利用者が駐車ブレーキをすることなく、ハンドルから手を離す事で自動的に駐車ブレーキがかかり、ハンドルを握ることでブレーキが解除する画期的な仕組みになります。

駐車ブレーキをかける事を忘れてしまい歩行器が勝手に動いてしまったり、ブレーキをしないまま座面に座ろうとしてしまったりと不安は様々です。歩行補助や歩行時の転倒防止を図る為にレンタルを検討しているのに、駐車ブレーキのかけ忘れを気にして歩行器の利用を諦めている事例も多々あります。もし、ブレーキのかけ忘れを気にして歩行器の利用を諦めている方、「ジスタ」なら頼もしい相棒になってくれるかもしれません。実際に「ジスタ」をお持ちいたしますので、お試し利用も可能です。ご希望の方は是非、Kanekuコーポレーション　ライフケア事業部までお問い合わせください。

今後ともKanekuコーポレーションをよろしくお願いいたします。

<ジスタ>

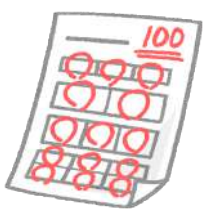
グリップから手を離すだけで駐車ブレーキがかかる、新たなブレーキシステム

Kanekuコーポレーション　LifeCare ライフケア

せんとらるライナー待合室　？2頭のライオン？

あなたが旅をしていると目の前に2つの扉が現れ、それぞれの扉の前にはライオンが1頭ずついた。隣の立て札には、次のように書かれていた。
片方の扉はあなたを新しい世界へ導くが、もう一方の扉は、過去へ逆戻りする。
2頭のライオンは、「はい」か「いいえ」でしか答えない。
それから、1頭は真実しか語らず、もう片方は嘘しか語らない。
あなたはどちらのライオンに、どのような質問をすれば、新しい世界へ行けるか。ただし、質問できるのは1度だけである。

〈解説〉　【82号の答え】　Cさん



1人ずつ発言から考えてみましょう。
Aさんを100点とすると、Bさんはウソの発言になり、
Cさんは100点です。しかし100点は1人だけなので、
3人の発言には矛盾がおきます。
Bさんが100点の場合、AさんとCさんは50点をとり、
それぞれウソの発言と仮定します。
ですが、2人の発言には食い違うところがあり、矛盾が発生します。
Cさんが100点の場合は残りの2人の発言は成立します。